

# 令和7年 稲作情報 vol.3

※この資料は、令和7年4月15日現在の農業登録情報に基づいて作成しています。

※この資料は、県ホームページでも公開しています。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/inasakugijyutujyohou.html>



|                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 南会津農林事務所農業振興普及部    | Tel 0241-62-5262 |
| 南郷普及所              | Tel 0241-72-2243 |
| J A会津よつば田島営農経済センター | Tel 0241-63-1172 |
| 南郷営農経済センター         | Tel 0241-72-2554 |
| 下郷資材センター           | Tel 0241-69-1088 |
| 只見資材センター           | Tel 0241-84-2214 |

- 代かきは丁寧に行い、田面を均平にしましょう
- 田植えは風のない穏やかな日に行いましょう。
- 稲の生育に応じた水管理をしましょう。
- 適切な病害虫対策を実施しましょう。
- 草種に応じた除草剤を使用しましょう。

## <作業スケジュール（参考）>

※ 作柄判定ほ（田島・ひとめぼれ中苗）の田植期平年値（5/24）から例示

|      | 5月         |   |       | 6月            |   |   |
|------|------------|---|-------|---------------|---|---|
|      | 上          | 中 | 下     | 上             | 中 | 下 |
| 育苗   | 育苗管理       |   | 今回の内容 |               |   |   |
| 本田準備 | (基肥施肥)・代かき |   |       |               |   |   |
| 田植え  | Vol.2 参照   |   | 田植え   | 初期剤・初中期一発剤の散布 |   |   |
| 雑草防除 |            |   |       |               |   |   |

## 1 気象情報 1か月予報（5/2～6/2） 仙台管区气象台発表（5/1）

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

## 2 田植え前の準備

### ・ 均平はとれていますか？

代かきは浅水で丁寧に行い、田面を均平にします。均一な生育や、除草剤の効果を十分に発揮させる上で重要です。

### ・ 漏水はありませんか？

モグラやネズミの穴がないか、見回りを実施します。穴があった場合は、穴を埋めた後、丁寧に畦塗りを行いましょう。

## 3 田植え・水管理

- ・ 田植え早限の目安は、苗が活着する温度である平均気温13度（田島で5月13日頃）です。強風や低温の日に田植えをすると植え痛みによる活着不良や初期生育の遅れにつながるので、風のない暖かい日に田植えを行いましょう。
- ・ 雑草の発生を抑えるため、代かきから田植えまでの日数が空きすぎないようにしましょう。7日以上日数が空いてしまう場合は、初期剤を散布し、雑草の発生を防ぎましょう。
- ・ 植え付け本数は1株当たり3～4本としましょう。
- ・ 置き苗はいもち病の発生源となるため、早急に除去しましょう。

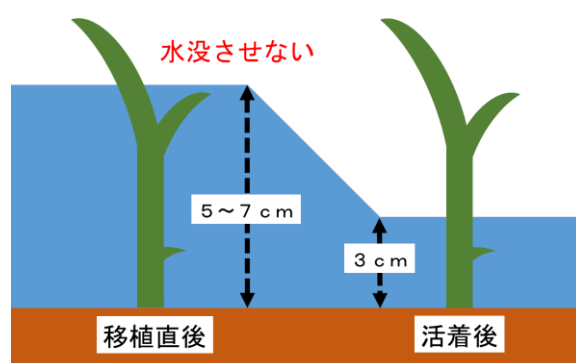
### (1) 田植え～活着（田植え後5～10日）

活着までは深水管理（水深5～7cm、苗先が少し出る程度）とします。

### (2) 活着後（田植え後約1か月）

分けつを促すため浅水管理とします。

- ・ 日中…3cm、夜間…5cm
- ・ 寒い日や強風日は深水管理（7～8cm）



## 4 初期害虫及びいもち病対策

| 薬剤名           | 使用時期          | 使用量                           | 使用方法           | 適用病害虫                                                             | 本剤の使用回数 |
|---------------|---------------|-------------------------------|----------------|-------------------------------------------------------------------|---------|
| Dr. オリゼパデイト粒剤 | 緑化期～移植当日      | 50g/箱                         | 育苗箱の上から均一に散布する | いもち病、イネトヨイムシ、イネミズゾウムシ、ツマグロヨコバイ、ヒメトビウカ                             | 1回      |
|               | 移植3日前～移植当日    | 高密度には種する場合は1kg/10a(50～100g/箱) |                | いもち病、イネトヨイムシ、イネミズゾウムシ、ツマグロヨコバイ、ヒメトビウカ、カメイチウ、フタホビコヤガ、コブノメイガ、イネツトムシ |         |
|               | 移植時           | 1kg/10a                       | 側条施用           | いもち病、イネトヨイムシ、イネミズゾウムシ                                             |         |
| ブーンレパード箱粒剤    | は種時（覆土前）～移植当日 | 50g/箱                         | 育苗箱の上から均一に散布する | いもち病、紋枯病、イネミズゾウムシ、イネトヨイムシ、コブノメイガ、フタホビコヤガ、カメイチウ、イネツトムシ             | 1回      |
|               |               | 高密度には種する場合は1kg/10a(50～100g/箱) |                |                                                                   |         |
|               | 移植時           | 1kg/10a                       | 側条施用           | いもち病、紋枯病、イネミズゾウムシ、イネトヨイムシ                                         |         |

※ 育苗箱は30×60×3cm、使用土壌約5L。

## 5 雑草防除

**散布後7日間は必ず止水し、落水やかけ流しを行わないようにしましょう。また湛水状態を保ち、田面が露出しないようにしましょう。**

適用雑草を確認し、除草剤を選択します。またノビエの葉齢を確認し、防除適期を逃さないように施用します。

| 分類     | 薬剤名           | 使用時期                                          | 使用量<br>(/10a)         | 使用方法                         | 適用雑草                                                          | 本剤の<br>使用回数 |
|--------|---------------|-----------------------------------------------|-----------------------|------------------------------|---------------------------------------------------------------|-------------|
| 初期剤    | 先陣 1 キロ粒剤     | 移植時                                           | 1kg                   | 田植同時散布機で施用                   | 一年生雑草、オモダカ、ヘラオモダカ、ウリカワ、ヒルムシロ、ホタルイ、マツバイ、コウヤガウ、アオミドロ・藻類による表層はく離 | 1 回         |
|        |               | 植代後～移植 7 日前<br>又は移植直後～ノビエ 1 葉期 ただし、移植後 30 日まで |                       | 湛水散布又は無人航空機による散布             |                                                               |             |
|        | エリジャン乳剤       | 植代後～移植 7 日前まで                                 | 300ml                 | 原液湛水散布                       | 水田一年生雑草、ヘラオモダカ、ホタルイ、マツバイ                                      | 1 回         |
|        |               | 移植直後～ノビエ 1 葉期 ただし、移植後 30 日まで                  |                       |                              |                                                               |             |
| 初中期一発剤 | アットウ Z 400 FG | 移植後 3 日～ノビエ 4 葉期 ただし、収穫 60 日前まで               | 400g                  | 湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布 | 一年生雑草、多年生広葉雑草、アオミドロ・藻類による表層はく離                                | 1 回         |
|        | カイリキ Z 1 キロ粒剤 | 移植時                                           | 1kg                   | 田植同時散布機で施用                   | 一年生雑草、多年生広葉雑草、アオミドロ・藻類による表層はく離                                | 1 回         |
|        |               | 移植直後～ノビエ 3 葉期 但し、移植後 30 日まで                   |                       | 湛水散布又は無人航空機による散布             |                                                               |             |
|        | ディオーレジャンボ     | 移植後 1 日～ノビエ 3 葉期 ただし、移植後 30 日まで               | 小包装 (パック) 10 個 (400g) | 水田に小包装 (パック) のまま投げ入れる        | 一年生雑草及び多年生広葉雑草                                                | 1 回         |

### ◎ 春の農作業安全運動実施中 (期間 3/1～5/31)

春はトラクターを利用する機会が多くなり、農作業事故が発生しやすくなります。転落・転倒に注意して作業を進めましょう。



次回発行は5月下旬頃(水管理、雑草・病虫害防除について)を予定